

【北日本支部】2009年度 仙台シンポジウム「グリコバイオテクノロジー—糖と酵素が織りなすサイエンスとバイオテクノロジーの魅力と可能性—」 | 1

主催：日本生物工学会北日本支部

共催：日本農芸化学会東北支部

東北地域バイオインダストリー振興会議（TOBIN）

日時	2009年8月1日（土）13：30～17：20
場所	東北大学片平さくらホール （仙台市青葉区片平二丁目1番1号）
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> • 13:30～13:35 開会の辞……中山 亨（東北大学大学院工学研究科） • 13:35～14:25 「ピフィズス菌のヒトミルクオリゴ糖代謝経路の解明および利用」 ……北岡 本光（農研機構食品総合研究所） • 14:25～15:15 「植物就眠運動を制御するグリコシド型生物活性分子の化学」 ……上田 実（東北大学大学院生命科学研究科） • 15:15～15:35 休憩 • 15:35～16:25 「糖鎖工学研究における化学の目・生物の目 —新しい合成法はどのようにして生まれるか—」 ……正田晋一郎（東北大学大学院工学研究科） • 16:25～17:15 「希少糖：単糖の復権をめざした挑戦」 ……何森 健（香川大学大学院農学研究科） • 17:15～17:20 閉会の辞
参加費	会員 無料，会員外 1000円，学生 無料
懇親会	シンポジウム終了後17：30から開催いたします．会費3000円（予定）．
参加申込	1) 氏名，2) 所属，3) 役職等，4) 会員・非会員・学生の別，5) 懇親会参加希望の有無を下記までお知らせ下さい．
申込締切日	7月27日（月）
申込先・問合せ先	東北大学大学院工学研究科バイオ工学専攻 高橋征司 E-mail:

⇒[北日本支部Topへ](#)